

新設授業科目 授業記録	
開講科目名： 研究プロジェクト演習	科目群名【 研究マネジメント群 】
担当教員名：今井範子・藤原素子	開講学期・曜日・時限【 不定期 】
第1回授業実施日 【 4月 14日】 ① 本時のねらい ② 本時の内容 ③ 本時の成果 ④ 自己評価	<p>本科目の内容についての説明を行ない、授業の趣旨と流れについて理解を促す。</p> <p>ガイダンスを行ない、グループ毎に研究プロジェクトを企画、遂行し、成果発表を行なうことを説明した。受講生が自己紹介と現在の研究内容の紹介を行なった。</p> <p>受講生は5名であった。本科目の主旨を説明し、基本的に受講生が主体となって授業を展開し、研究プロジェクトを企画、遂行することについての理解を促すことができた。</p> <p>受講生全員が本科目の主旨をよく理解し、前向きに取り組もうとしている様子が伺えた。本科目は受講生が主体となって進めていく授業形態であるが、タイミングよく適切なアドバイスを行なっていきたい。</p>
第2回授業実施日 【 5月 12日】 ① 本時のねらい ② 本時の内容 ③ 本時の成果 ④ 自己評価	<p>セミナーのテーマについての案を各受講者が提案し、積極的に意見を交換する。</p> <p>各受講生がセミナーテーマの「企画案」を説明した。その後、各テーマについて意見交換を行ない、研究過程を重視するものと、研究内容を重視するものそれぞれについてテーマを1つずつに絞った。</p> <p>各受講生が自分の研究に関わるテーマについて発表し、互いの案についてしっかりと意見交換を行なうことができた。</p> <p>受講生の中から司会、書記を決めて進めることができた。各受講生が自分の研究テーマに沿ったセミナーテーマの「企画案」を出し、意見交換していく中で、セミナーの目的を共有できる可能性について助言を行なった。</p>

<p>第3回授業実施日 【 6月 7日】</p> <p>① 本時のねらい</p> <p>② 本時の内容</p> <p>③ 本時の成果</p> <p>④ 自己評価</p>	<p>セミナーのテーマと講師を決定し、開催時期と内容の詳細について検討する。</p> <p>前回の授業後、さらに検討を加え、「モンゴル民族の生活」というテーマと講師を選定した(国立民族学博物館、教授、小長谷有紀氏)。さらに詳細なテーマ、開催時期、今後のスケジュールについて話し合った。</p> <p>セミナーの大枠のテーマが決定し、さらに詳細なテーマについて活発な意見交換が行なわれた。また、開催時期を10月の土日とし、具体的なスケジュールと役割分担についての見通しを立てることができた。</p> <p>受講生が自分達で授業を進める中で、今後のスケジュールについて助言を行なった。</p>
<p>第4回授業実施日 【 7月 28日】</p> <p>① 本時のねらい</p> <p>② 本時の内容</p> <p>③ 本時の成果</p> <p>④ 自己評価</p>	<p>受講生がセミナーに向けての計画の進捗状況を確認し合い、今後のスケジュールを検討する。また、事務手続き書類についてのマニュアルを配布し、説明する。</p> <p>受講生より2人目の講師についての依頼状況についての説明があり、その後広報の方法と時期について検討した。教員より、セミナー開催に必要な書類の書き方、提出期限について、マニュアルを配布して説明を行なった。</p> <p>「市民だより」「県政だより」への広報について、検討することができた。マニュアルをもとに、セミナーに向けての具体的な手順や書類作成、事務への提出期限など、細かな説明を効率よく行なうことができた。</p> <p>セミナー開催の手順について、マニュアルを用いながら適切に指導することができた。</p>

<p>第5回授業実施日 【 9月 5日】</p> <p>① 本時のねらい</p> <p>② 本時の内容</p> <p>③ 本時の成果</p> <p>④ 自己評価</p>	<p>セミナー開催に向けての報告をもとに、さらに具体的な内容や準備について確認を行なう。</p> <p>受講生より、セミナーの開催日、タイトル、場所について、報告があった。また、セミナー準備(講師との打ち合わせ、広報、案内の郵送)についても、各担当者から報告を行なった。セミナーに関する問い合わせや参加申し込み方法について検討した。</p> <p>セミナー「モンゴル民族の暮らし」を10月29日(土)午後2時から5時に F 棟5階会議室で開催することが決定。講師は小長谷有紀氏で、タイトルは「モンゴル遊牧の特徴と現状」。当日、受講生のひとりが「都市におけるモンゴル民族の暮らし」について発表することも決定した。準備の具体的な内容について、詳細に検討することができた。</p> <p>セミナー準備の報告を受ける中で、ポスターのデザイン、申し込みや問い合わせに用いることができる大学のメールアドレスの取得について助言を行なった。</p>
<p>第6回授業実施日 【 9月 27日】</p> <p>① 本時のねらい</p> <p>② 本時の内容</p> <p>③ 本時の成果</p> <p>④ 自己評価</p>	<p>セミナー開催に向けての報告をもとに、さらに具体的な内容や準備について確認を行なう。</p> <p>セミナー準備(講師との打ち合わせ、広報、案内の郵送、当日の配布資料の準備、アンケート内容)について、各担当者から報告を行なった。</p> <p>セミナー準備状況について受講生が共有することができた。ポスターのデザインについて最終確認を行なった。</p> <p>受講生が主体的に準備を進めていることを確認した。ポスターについては大学のHPに公開するように助言した。</p>

<p>第7回授業実施日 【 10月 25日】</p> <p>① 本時のねらい</p> <p>② 本時の内容</p> <p>③ 本時の成果</p> <p>④ 自己評価</p>	<p>セミナー開催についての最終確認を行なう。</p> <p>受講生から、準備状況、当日のタイムスケジュールと運営の分担についての報告と確認が行なわれた。</p> <p>準備がほぼ整っていること、また当日の運営について、受講生がしっかり確認し合うことができた。</p> <p>受講生によってセミナーの準備がほぼ滞りなく進んでいた。細部について1、2助言したが、基本的に受講生の準備状況は十分であることを確認した。</p>
<p>第8回授業実施日 【 12月 14日】</p> <p>① 本時のねらい</p> <p>② 本時の内容</p> <p>③ 本時の成果</p> <p>④ 自己評価</p>	<p>本科目についての報告会を行なう。受講生各自が、セミナー開催に至るまでの企画・運営において、またセミナー開催において、自分の研究テーマとの関わりの中から学んだことを発表する。</p> <p>受講生からの報告(1. 企画について、2. セミナー当日の運営について、3. アンケートのまとめ、4. セミナーの内容について)ならびに感想の発表の後、教員からの感想・助言を行なった。</p> <p>受講生各自が、本科目の受講を振り返り、セミナー開催を通して感じたこと、学んだことをしっかりと発表した。また受講生の感想に対して教員から助言を行ない、双方のやりとりにおいて本科目の意義について共有することができた。</p> <p>受講生が主体となった報告会であり、教員は最後に感想と助言を行なった。改めて本科目の目的・意義について受講生と意見交換することができ、大変有意義であった。</p>